

<p>マクロ経済 産業動向</p>	<p>(1) <b>【1日 Daily Star 紙】</b> Alison Blake 駐バングラデシュ英国大使は、経済団体とのランチョンミーティングにおいて、「英国はEU 離脱後も世界各国とのビジネスに前向きである」と強調した。一方、テロ事件後の情勢については「状況は改善しているものの、我々の警戒を解くには時期尚早である」と述べた。</p> <p>(2) <b>【16日 Daily Star 紙】</b> 雨季に栽培される Aman 米の収穫が各地で始まっている。国連によれば、今年は天候に恵まれたことから、Aman 米の収穫量は昨年度比2%増の2,060万トンに達する見込み。尚、Aman 米は年間の米生産量の38%を占めている。</p> <p>(3) <b>【18日 Daily Star 紙】</b> 携帯電話市場における Grameenphone 社のシェアが、4%増加して46.29%となった。これはSIMの登録方法が変更になったことを受け、各社が加入者数を減少させる中、Grameenphone 社は減少幅が最も少なかった為である。尚、2016年1月から8月の間に加入者総数は11.89%減少し、1億1,780万人となっている。</p> <p>(4) <b>【20日 Financial Express 紙】</b> スーパーマーケットの市場規模は、ここ数年で徐々に拡大している。バングラデシュにおけるスーパーマーケット市場は2000年代から興隆し、富裕層・中間所得層の増加を背景に現在ではダッカ、チッタゴン、シレットで約160店舗まで増加している。</p> <p>(5) <b>【24日 Financial Express 紙】</b> 食品加工産業では、過去20年間にわたり国内市場は急速に拡大している一方、海外市場を未だに開拓できていない。所得水準の増加や都市化の進行により国内市場は今や年間1.3兆タカに達した一方、食料加工品の輸出額は470億タカと輸出額の1.88%を占めるに過ぎない。</p> <p>(6) <b>【25日 Financial Express 紙】</b> 建設中の20の経済特区は、現在までにおよそ40%の進捗度合いを見せており、2018年までに完成する予定である。バングラデシュ政府は、100か所の経済特区(75,000エーカー)の建設を目標に定めている。</p> <p>(7) <b>【28日 Financial Express 紙】</b> Bangladesh Institute of Bank Management は「Handling the Challenges of IT Risk Management in Banks」と題した報告書を発表。この中で、全ての銀行は中央銀行のICT Security Guidelineに順守している他、36%でISO27001、20%でITIL等の国際資格を取得している。更に36%の銀行はカードの安全性確保の為にPCI DSSの</p>
-----------------------	--

	<p>取得に向けた準備を進めている。</p> <p>(8) <b>【30日 Daily Star 紙】</b>  Institute of Chartered Accountant of Bangladesh (ICAB) は、会計報告やコンプライアンスが優良な24社に対し ICAB National Award を授与した。銀行部門では Prime Bank が選出された他、製造業部門では RAK Ceramic 社、ICT 産業部門では Grameenphone 社が選出された。</p>
<p>財政 税制</p>	<p>(1) <b>【15日 Financial Express 紙】</b>  来年度(2016/17年度)の予算規模は3兆9,000億タカになる見込み。14日、Muhith 財務大臣が「暫定的な考え」と前置きしながらも、来年度の予算規模に言及。尚、今年度の予算は3兆4,000億タカであった。</p> <p>(2) <b>【21日 Daily Star 紙】</b>  今年度当初4か月間(2016年7月～10月)における開発予算の執行率は、前年同期比2%増の13.6%に達した。今年度の開発予算(1兆2,346億タカ)は昨年度より50.9%増となっていることから、執行額ベースで見ると前年同期比44.64%増の1,677億タカとなった。</p>
<p>金融・物価・ 為替</p>	<p>(1) <b>【1日 Daily Star 紙】</b>  世界銀行はバングラデシュ政府に対し、保険産業に関する1億ドルの支援を提案した。この内、監督官庁(Insurance Development and Regulatory Authority)の機能強化に3,500万ドル、官営保険会社の近代化に4,000万ドル、民間保険市場の育成に2,000万ドルが振り向けられる予定。</p> <p>(2) <b>【5日 Financial Express 紙】</b>  2015/16年度の保険産業の成長率は0.54%に留まり、前年度の3.95%から急落した。民間保険会社の関係者は「保険販売におけるエージェントや仲介人に支払う費用が大きく、これが全体の収益を悪化させた」と述べた。実際、バングラデシュの民間保険会社(43社)は過去7年間で145.2億タカの追加費用を負担している。</p> <p>(3) <b>【6日 Daily Star 紙】</b>  個人向け国債の販売額が増加を続けている。今年度当初3か月間(2016年7月～9月)の販売額は1,165億タカで、前年同期の743億タカより大幅に増加した。中央銀行関係者は「個人向け国債の利回りは、市中銀行の貯蓄利率より5～6%ほど高い上に、安全性も高いことが販売額に結びついている」と述べた。</p> <p>(4) <b>【20日 Daily Star 紙】</b>  銀行の貸出利率は下落を続け、2016年9月には遂に10.15%となった。しかし依然として、融資に対する借入需要は弱い。また銀行関係者は「優良顧客には8%で貸し出している」と述べ、銀行間の競争激化も</p>

	<p>金利低下の背景との見方を示した。現在バングラデシュには 57 行の銀行がある他、3 ダースのノンバンクも存在する。</p> <p>(5) 【24 日 Daily Star 紙】 IFC は「Mapping the market potential and accelerating finance for women SME entrepreneurs in Bangladesh」と題した報告書を発表し、この中で 60.2%の女性企業家は適切に融資を受けられていないとする実態を明らかにした。</p> <p>(6) 【26 日 Daily Star 紙】 国営銀行による農業融資の内、56.8 億タカが不良債権化していることが明らかになった。また 184,308 件が裁判所に提訴されている一方、この内 12,245 件 (3,800 万タカ分の債権) については借手が行方不明となっている。</p> <p>(7) 【27 日 Daily Star 紙】 2016 年 9 月末時点の民間商業銀行 (39 行) の不良債権額は 2,768 億タカであり、同年 6 月末の 2,235 億タカより微増した。これは 2013 年に認可された幾つかの新銀行で不良債権比率が高かったことが、主な要因。</p> <p>(8) 【30 日 Daily Star 紙】 IFC は、低所得者向けの住宅ローンの需要が、2020 年までに現在より 67%増加し 8,182 億タカに達するとする報告書を発表した。この内、41%に相当する 3,364 億タカは農村地域で発生すると見られている。尚、2015 年の住宅ローン残高は 4,899 億タカで、この内、農村地域は 402 億タカであった。</p>
投資	<p>(1) 【21 日 Daily Star 紙】 20 日、Robi 社と Airtel 社の合併手続きが終了した。新会社の名称は「Robi Axiata Limited」となり、Robi 社の親会社である Axiata 社が株式の 68.7%を保有する。尚、NTT Docomo は 6.3%を握る。またこの合併により新会社は、業界首位の Grameenphone 社 (加入者数 5,450 万人) に次ぐ業界 2 位 (同 3,220 万人) に踊り出ることになる。</p>
貿易	<p>(1) 【2 日 Daily Star 紙】 アフリカや中東諸国におけるバングラデシュ製加工食品の需要が近年、急速に増加している。現在、少なくとも 9 社が加工食品の輸出に従事しており、2015/16 年度で 200 億タカを稼いだとされる。また例えば Sajeeb Group などは過去 10 年間で、毎年 40-50%の成長を続けている。</p> <p>(2) 【14 日 Daily Star 紙】 東アジアや東南アジアにおける需要増加を受け、蟹の輸出額が増加している。2010/11 年度の輸出額は 920 万ドルだったものが、2015/16 年度には 2,382 万ドルに達した。更に今年度の当初 4 か月間 (2016</p>

	<p>年7月～10月)の輸出額は、前年同期比28%増の350万ドルに増加している。</p> <p>(3) 【18日 Daily Star 紙】 2015/16年度の第一四半期(2016年7月～10月)の工作機械の輸入額は18億ドルとなり、前年同期(8.2億ドル)の倍以上に達した。これは縫製産業における買い替え需要の他に、公共事業の増加による鉄鋼産業の拡大や、食品加工産業の伸びが背景として挙げられる。</p> <p>(4) 【23日 Daily Star 紙】 2015/16年度(2015年7月～2016年6月)の木綿輸入量は、前年度比4.91%増の640万Bale(1Bale=218kg)に達した。バングラデシュは世界最大の木綿輸入国であり、木綿の輸入額は30億ドルに達する。一方、バングラデシュの輸入木綿のおよそ半分は、インド産である。</p>
<p>雇用問題 海外出稼ぎ 社会保障</p>	<p>(1) 【4日 Daily Star 紙、Financial Express 紙】 2016年10月の海外送金受取額は、前年同月比8.18%減の10.1億ドルに留まった。また今年度当初4か月間(2016年7月～10月)の海外送金総額も42.6億ドルとなり、前年同期比で17.31%の減少となった。業界関係者は「原油価格の低迷に伴う、中東諸国での建設事業の縮小の影響が続いている」と述べた。</p> <p>(2) 【21日 Daily Star 紙】 バングラデシュ人海外出稼ぎ労働者の派遣先国の通貨が、米ドルに対し下落していることが、海外送金額の減少に繋がっている。今年度当初4か月間(2016年7月～10月)の海外送金額は、前年同期比15.42%減の42.6億ドルに留まった。中央銀行の関係者は、「出稼ぎ先国の通貨価値の下落は、海外送金額が減少した主要な要因である」との見解を示した。</p> <p>(3) 【27日 Daily Star 紙】 BRACは出稼ぎ労働に関する会合で、海外出稼ぎ労働者の派遣費用は増加している一方、収入は横ばいのままであると強調した。中東諸国の場合、派遣費用は20万～80万タカである他、マレーシアの場合は20万～60万タカ掛かる。一方、中東諸国では毎月16,000～38,000タカの収入が得られる他、マレーシアでは20,000～30,000タカの収入が得られる。</p> <p>(4) 【28日 Financial Express 紙】 非公式経路による海外送金が増加しており、これが統計上の海外送金額の減少を招いていると思われる。今年度当初3か月間(2016年7月～9月)の海外送金流入額は前年同月比15.43%減少しているものの、海外出稼ぎ労働者数は増加を続けている。中央銀行のチーフエコノミストは「非公式経路による送金増加しか、この現象の説明がつかない」と述べた。</p>

<p style="text-align: center;">社会</p>	<p>(1) 【6日 Daily Star 紙】</p> <p>インド政府が500ルピー及び1,000ルピー紙幣の停止を発表してから1週間が経過。インドを訪問しているバングラデシュ人は、大きな混乱に巻き込まれており、国営 Sonali 銀行のコルカタ支店には両替を求める長蛇の列が出来ている。同支店は1,500万ルピー分の資金需要に対し、インド中央銀行からは僅か400万ルピー分の資金供給しかないことを明らかにし、12月まではインドを訪問するのを避けるよう呼びかけた。</p> <p>(2) 【24日 Daily Star 紙】</p> <p>バングラデシュは「持続的な開発目標 (SDGs)」の達成の為に、国内資金を活用する必要がある。計画省幹部は「ミレニアム開発目標 (MDG) では援助機関から合意した40%の資金しか受け取ることが出来なかった」と述べた他、Kamal 計画大臣は「国内の民間セクターは最早小さい規模ではない」と述べ、民間資金の幅広い活用を呼びかけた。</p> <p>(3) 【25日 Daily Star 紙】</p> <p>International Food Policy Research Institute (米国シンクタンク) は、バングラデシュでは過去20年間で児童結婚の割合は62.3%から43.2%に減少したとする報告書を発表した。特に15歳以下の児童結婚は15.9%から5.4%に激減した一方、15歳～18歳では46.4%から37.8%と依然高い水準に留まっている。</p>
---------------------------------------	--

(丁)